

【2021年度 技術賞部門賞（喜ばれる技術）】

交差点改良を通じた地下駅におけるバリアフリー化の実現

阪神電気鉄道株式会社

事業概要

<背景>

国土交通省が策定する「移動円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、3,000人/日以上の利用がある鉄軌道駅において段差解消（バリアフリー化）が求められていた。

<事業内容>

本事業では、神戸高速線西元町駅（以下「本駅」）において、交差点改良との同時施工によりバリアフリー化を実現し、2020年3月より各種設備の供用を開始した。

<課題となっていた点>

本駅は県道直下に建設された駅であるが、地上部出入口付近にエレベーターが設置可能な社有地が無く、新たな用地取得も困難であり、永らくバリアフリー化が困難な状況にあった。



技術の概要

【使える技術】通常であれば地上階～改札階に1基、改札階～各ホーム階に1基ずつの計3基のエレベーターを設置するのに対し、本工事では地上階から下りホーム階を貫通する改札内外兼用エレベーターを1基設置することで、狭小な地下空間等におけるスペースの活用を行った。

【成し遂げた技術】地上部出入口付近には社有地が無く、また用地取得も困難であったことから、歩道上にエレベーターを設置する以外になかったが、その位置でも横断歩道と支障していたため、管理者に対し交差点改良の同時施工を提案することで、エレベーターの設置を可能にした。

【喜ばれる技術】本事業は、歩道通行を阻害することなく、また横断歩道の移設並びに信号機の移設により交差点の安全性向上に繋げるなど、道路管理者および交通管理者と鉄道事業者がwin-winの関係になるよう配慮し困難と思われた課題を解決できた事案である。

本駅周辺には多数の集合住宅が立地しており、近年人口が増加する地区になっている。また神戸元町商店街や病院もあり、増加する付近住民に加え、医療施設及び商業施設を訪問する方々にとって喜ばれる技術であった。設置後、エレベーターの利用者は順調に増加しており、本駅を利用されるお客様にとってもバリアフリー化は待ち望んだものであったことが強く伺える。

成果

エレベーターの設置により、本駅を利用されるお客様の移動円滑化を実現することができた。また、同時施工した交差点改良においては、コンパクトな交差点の実現に貢献したほか、信号機の移設等を通して当該交差点の安全性向上にも寄与することができた。

